



HOPPY team TSUCHIYA
レースリポート
2025 SUPER GT Rd.8 もてぎ

日時	2025年11月1日 予選、2日 決勝	■車両名	HOPPY Schatz GR Supra GT
■場所	モビリティリゾートもてぎ（栃木県）	■カーNo.	25
■監督	土屋 武士	■ドライバー	松井孝允／佐藤公哉
■チーム	HOPPY team TSUCHIYA	■リザルト	予選 A組11位（Q2進出ならず） 決勝 DNS

2025 シーズンの最終戦。最後は笑って終わると意気込むもまさかのトラブルに泣く。

シーズン後半は、レースを重ねるごとにパフォーマンスを上げていった HOPPY team TSUCHIYA の 25 号車、通称「ホピ子」。チーム一同「最後は笑って終わろう」と意気込んで臨んだ今季最終戦だったが…。

11 月 1 日（土）公式練習、公式予選

▼公式練習 <GT300 22 位 1 分 48 秒 776>

▼予選 Q1 A 組 11 位 1 分 48 秒 015（Q2 進出ならず）

11 月 2 日（日）決勝レース

晩秋の栃木県茂木町は好天に恵まれた。その分朝はぐっと冷え込み、乾いた空気の中で今シーズンの最終戦・決勝の 1 日が始まった。

▼ウォームアップ <GT300 20 位 1 分 51 秒 197>

松井選手のドライブでセッションを開始。7 周を走行したところでピットイン、ドライバーを佐藤選手に交代してピットアウト、佐藤選手も短い時間だったがマシンの感触をチェック。20 分のセッションを消化した。ベストタイムは松井選手が 7 周目に記録した 1 分 51 秒 736。順位は 20 位で終了。



▼決勝 <GT300 DNS（スタートできず）>

迎えた決勝。戦いの前ではあるが最終戦ということもあり、今季で SUPERGT を卒業する選手への惜別ムードも漂う。スターティンググリッド上でも今シーズン戦ってきたライバル同士が互いにここまでの健闘を讃えあう、そんな空気感も漂わせていた。

スタートのセレモニーをひと通り終えると、白バイとパトカーの先導によるパレードラップが始まる。お馴染みの光景が眼前では進行していく。そこへ、モニターには俄かには信じたくない映像が映し出された。白にピンクが基調のマシンがコース上でストップしている。チームスタッフ、スポンサーの皆様も一瞬息を呑む。改めて確認すると、コース上に止まっているのは間違いなくホピ子だった。武士監督とスタート担当の松井選手の無線でのやりとりに皆耳を澄ます。何が起きたのか詳細はわからないながらも、駆動力が後輪に伝わっていないようだ。ここまでトランスミッションの共同開発に取り組んできたトヨタ自動車のメンバーの顔色が変わった。速やかにマシンは牽引されピットへ。そうしている間にレースはスタート。マシンの轟音が一齐にサーキットを包む。メカニック達がホピ子を押して

ピットへ。リヤハッチが外され武藤チーフが覗き込む。果たして原因は…。帰ってきたホピ子からデータロガーをチェックするスタッフの表情が険しい。そしてマシンの側ではリヤ回りのチェックと議論が続く。成績はともかく、最終戦レースができるのか？しかし、原因を正確に特定するにはトランスミッションをチェックするしかない。「それをレース中に間に合わせるのは無理」武藤チーフの声がレース中の轟音の中でもはっきり聞こえた。



最後は武士監督の決断でトランスミッションをおろし、チェックすることを選択。最終戦は、駆動系のトラブルによりスタートできず。無念の DNS となった。

その後、ピットではチェック作業が始まった。その結果、ドライブシャフトの損傷が直接の原因であることが確認された。トランスミッションには異常がないことも確認された。ドライブシャフトの損傷原因についてはまだわかっていないが、仮説としては、シーズン後半にマシンのセッティングが上向いたことで、よりリヤタイヤに駆動力をしっかりと伝えられるようになった結果、ドライブシャフトにそれまでにない負担がかかるようになっていたのではないかと推測されている。

により想定していたマイルージよりもドライブシャフトの限界が早くてしまったのではないかと推測されている、などが考えられるという。

文字通りあっという間に 2025 年シーズンが幕を閉じた。開幕戦こそポイントを獲得したものの、その後はマシンの性能を正常に機能させるのに四苦八苦した。その中でも議論を尽くし、やれることを一つ一つ積み上げることで光が見える、そんなことを教えてくれたシーズンだったのではないだろうか。

ご支援いただいたスポンサーの皆様、ファンの皆様には苦しい時でも支えていただき、心より感謝申し上げます。来年はつちやエンジニアリング 55 周年の節目の年。武士監督以下、チーム一同すでに視線は来季に向けています。1 日も早く皆様と勝利の喜びを分かち合えるよう努めて参ります。今後ともご支援いただきますようお願い申し上げます。1 シーズン、本当に有難うございました。



▼土屋武士監督コメント

最終戦が終わりました。駆動系のトラブルでスタートできず本当に残念な最終戦になってしまいました。本当にごめんなさい。

1 年間、本当に苦しい前半戦から、光明が見えてきた中盤戦・後半戦という感じでした。最終戦チェッカーを受けたいという気持ちには強かったです。最終戦でチェッカーを受けられれば、クルマを作り始めて初めて全部完走できるシーズンにできたのですが、残念ながらという感じです。まあ、「まだ足りない」というメッセージだと思いますし、これを糧にまた来年更に…更にじゃない、一から積み上げるつもりでやっていきたいと思っています。

本当に 1 年間たくさんの応援、ご支援、ご声援有難うございました。今この瞬間から来年に向けてやってまいります。また来年もよろしくお願いします。有難うございました！



▽松井孝允選手コメント

できる限りのことは今シーズンやってきた中で、徐々にシーズン後半に向けてはいい流れが作れたかなと思ってはいたので、トラブルで終えてしまったのはとても残念です。とはいえ可能性の見た後半戦だったので、もっともっと詰められる部分というのは見つけてきているので、どちらかという早く来シーズンに向けて、しっかり準備をしていきたいなと思いました。ちょっとまだ（来季）どうなるかは分かりませんが、行けるのであれば、僕としてはキチンと準備をして、ドライバーとして速く走るということも今年一年、いろんなドライバーと他のカテゴリーで組ませてもらったりした中ですごく成長できた、まだまだ伸び代があると感じているので、もっとトレーニングをして、ドライビングをもっと磨いて、もう一度このチームでチャンピオンを獲りたいと思っているので、しっかりと準備していきたいと思います。1年間有難うございました！



▽佐藤公哉選手コメント



まずは1年間お疲れ様でした。たくさんの応援、有難うございました。なかなか一年通して思い描いたようなところには行けなかったのですが、その中でも色々な発見があり、チームと孝允さんと力を合わせて戦えたかな、と思っております。僕からは本当に感謝しかなくて、昨年はCドライバーでお世話になり、今年はまたレギュラーに上げていただき、戦う場をまた与えていただいたんですけど、僕自身もうまく運転できない場面があったりだとか、迷惑かけてしまったりした部分があったんですけど、僕自身も色々と収穫があった1年でしたし、本当にチームの皆さん、応援してくださる皆さん、スポンサーの皆さんに感謝申し上げます。有難うございました。引き続きチームの応援をよろしくお願いします。有難うございました。

◎つちやエンジニアリングのYouTubeチャンネル「つちやエンジニアリング_sub_ch」には数々のコメントをアップしています。

チャンネル登録のほど、よろしくお願いいたします。

URL https://www.youtube.com/@tsuchiya_25

【問い合わせ先】

つちやエンジニアリング合同会社

〒252-0822 神奈川県藤沢市葛原2507

TEL：0466-49-5010 FAX：0466-49-5011

担当：土屋・豊原